

研究課題名	診断時の末梢血・凝固検査5項目による急性前骨髄球性白血病(APL)予測モデルの開発と内部検証、およびFDP半減日数と短期転帰の関連解析
研究機関名	武藏野赤十字病院
研究責任者	所属 血液内科 氏名 野口 侑真
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認日 ~ 2026年3月
研究の意義・目的	急性前骨髄球性白血病(APL)は急性骨髓性白血病(AML)の中でも特異な病型であり、診断・治療の遅延は早期死亡の主要因です。本研究では、診断時に即時測定可能な5項目(白血球数、血小板数、フィブリノゲン、FDP、LDH)を用いてAPL予測モデルを構築し、その内部検証を行います。また、副次的にATRA開始からFDP半減までの日数と短期転帰との関連を評価します。
研究の方法 (対象期間含む)	2016年1月～2025年5月に当院を初診し、初診時に白血球数、血小板数、フィブリノゲン、FDP、LDHが同一検体で測定された白血病患者(成人)を対象とし、後方視的に解析します。
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む)	①本研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しません。使用の際は、研究独自の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。研究結果は関係学会や論文で公表しますが、その際には氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報は含みません。保存期間は5年、その後は削除します。
②利用し、又は提供する試料・情報の項目	②年齢、性別、白血病型、初診時の血液検査値(WBC、Plt、Fib、FDP、LDH)、転帰(30日死亡、重大出血)、FDP正常化までの日数
③利用する者の範囲	③研究責任者および研究分担者
④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	④武藏野赤十字病院 血液内科 野口侑真 ならびに 武藏野赤十字病院 院長 黒崎雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ 〒180-8610 東京都武藏野市境南町1-26-1 武藏野赤十字病院 所属 血液内科 氏名 野口 侑真 TEL: 0422-32-3111 (代表) 6771 (事務局内線) FAX: 0422-32-3525